

第5回いなべ市行政改革推進委員会 会議録

会 議 名	第5回いなべ市行政改革推進委員会
開催日時	令和7年5月23日（金）14：00～16：30
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2，3，4
出席者	<p>【委員】6名 ※敬称略 丸山康人（会長）、佐々木文昭、伊藤章子、岡本孝文、近藤雄司、岡正光 欠席：林伸一</p> <p>【事務局】 山下正史（副市長）、森川里佳（企画部長）、近藤栄人（総務部長）、松宮みどり（市民部長）、岡武史（環境部長）、岡真水（福祉部長）、寺尾あき（健康こども部長）、宮木崇年（農林商工部長）、太田東洋（建設部長）、寺本靖彦（水道部長）、伊藤功（教育部長）、三好宏尚（会計管理者）、日紫喜巖人（議会事務局長）、小谷直仁（政策課長）、アクションプラン担当課長及び課員（15名）、政策課員（4名）、小林直樹（㈱ジャパンインターナショナル総合研究所） 欠席：大川洋海（都市整備部長）、中村政紀（監査委員事務局長）</p>
会議次第	<p>1 開会 2 会長あいさつ 3 説明事項 （1）第3回いなべ市行政改革推進委員会の主な意見について 当日資料3 4 審議事項 （1）第3次いなべ市行政改革アクションプラン 資料1 資料2 （2）公共施設等総合管理計画の現状と課題 資料3 5 次回の会議について 6 閉会</p>
配布資料	<p>資料1 いなべ市行政改革アクションプラン 資料2 行政改革・事務事業調査シート 資料3 公共施設等総合管理計画の現状と課題 当日資料1 行政改革推進員会座席表 当日資料2 第3次行政改革アクションプラン等策定スケジュール 当日資料3 第3回行政改革推進委員会の主なご意見 当日資料4 行政改革アクションプラン説明順 当日資料5 いなべ市公共施設等総合管理計画_本編</p>
公開、非公開の別	公開

## 議 事 概 要

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

たくさんの配布資料の中から、特に公共施設の管理に関する方向性を検討していくことになります。できる限り皆さんのご意見をいただきながら整理をしていきたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

### 3 説明事項

#### 【企画部長】

スケジュールについて説明 当日資料2

第3回いなべ市行政改革推進委員会の主な意見について説明 当日資料3

### 4 審議事項

(1) 第3次いなべ市行政改革アクションプラン 資料1 資料2

#### 【政策課長】

資料1、資料2について説明

#### 【各担当課長】

当日資料4に基づいて企画部にかかるアクションプランについて各担当課が説明

#### 【丸山会長】

皆さんの意見等ありますか。

#### 【近藤委員】

財政効果について、P9の人件費削減等で効果があるように感じるが、資料1の財政効果について「－」（財政効果なし）ということではなかったですか。

#### 【法務課長】

業務の効率化の結果について確認できていないため「－」にしています。

#### 【近藤委員】

行政改革ということで審議していくのであれば、確認をしていただきたい。

P6について、RPAについて作成するだけが目標となっていますが、作成だけが目標ですか。

#### 【情報課長】

RPAの内容によって年数変動かすものと毎日動かすものがあるため、シナリオを作成した時点で動かすことが前提なので、その時点で効果が出始めると考えています。

#### 【近藤委員】

PI7について、行政手続きのオンライン化数は累計か来年だけの数かどちらですか。

#### 【情報課長】

現状450件程度あるため、追加で50件して累計で500件にしています。

【近藤委員】

450 件の実績があるのであれば、5 年間ずっと 50 件増加では新しいことではないのではないですか。目標数値の値が定数で増えているため、2 次の計画の延長線上に感じる。同じことをやるのであれば行政改革ではないのではないですか。

【丸山会長】

現状の 450 件に対する評価が今まで実施していないため、他自治体との比較を含めて、現状把握をしてほしい。

財政効果に関して、直ちに算出することは難しいが最終的には効果額を出す必要がある。近藤委員の発言にある通り、取組によってどのような効果があるか考える必要があると思います。

【岡本委員】

財政効果が「－」のものは企業の立場ではやる必要がないといわれるものなので、効果は表す必要があると思います。コストの面であれば財政効果、それ以外でも業務品質、働き方改革という効果もあると思うので、項目を増やして、市役所側の効果だけではなく市民側の効果、AI やデジタル活用によって、手続きの待ち時間が短くなるなども効果だと思うので、項目を分類してどれに当てはまるかを○をするなど、例えば財政効果ならば 1 日 1 時間短縮できたら 20 日間で 20 時間の短縮、それに賃金をかけたら月額いくらとなるかなど。何かしら効果はあるから行うはずですし、改革する側にとっても何に効果があるかが分かって取り組めるので良いのではないですか。

【丸山会長】

岡本委員の意見を行政学的視点で説明をするとコストの問題と質の問題がある。質の問題とは「市民満足度」のことであり、どのように測るかは議論をし、記述の方法含めて意識をしてやってほしい。

【岡本委員】

組織力向上について、職場の評価についてのアンケートは毎年実施していますか。

【政策課長】

自己申告書で業務改善など報告する場があるが、上司に提出するため、書きづらいことがある。政策課の今回のアンケートのなかでは、そういったことに関係なく他部署のことでもいいので改善提案があれば書いてくださいとしましたので、そういったことは初めての試みでした。

【岡本委員】

それは良いと思いますが、それぞれの職場について職員が点数をつけるなど、毎年、各課を客観的に評価する仕組みがあると、今年の頑張りがどうだったかなどが分かりやすいのでそのような仕組みがあれば評価がしやすい。そして、そこで挙がってきた課題に対して改善案を考えて取り組むなど、職場の評価はひとつのツールになるのでアンケート調査は毎年行うとよいと思います。アンケートの項目をつくるのも大変だと思いますが、AI を活用したら手間もそこまでかからず作成できると思います。そうすることによって、他市町とも比較が行いやすくなると思います。

【丸山会長】

林委員に今回の結果を報告し、指標内容について詰めてほしいと思います。

【伊藤委員】

資料 1 と資料 2 の目標数値にずれがありますが、どちらが正しいですか。

【市民課長】

資料2の数値が誤りです。申し訳ありません。

【伊藤委員】

9ページの電子決裁について、今現在は行われているのか、まだ行われていないのか、どちらですか。

【法務課長】

一部の業務については、電子決裁を行っております。定例的な業務についてはすでに電子決裁で行っています。

【伊藤委員】

紙面よりも電子決裁の方が効率的に業務は進むと思われませんが、どうしても紙面で決裁しなければならないものがあるということですか。

【法務課長】

申請書類を受け付ける段階で、住民の方から出される申請書が紙ベースのものがあるため、無理に電子化すると逆に事務量が増えてしまうものもあります。

【佐々木委員】

P3について、いただいた意見に基づいて取組を実施していくことも大切だと思いますが、市としてこんな組織にしたいという目標があって、それに向かって進めていくことも大事だと思うので、そういった部分に関しては、意見の有無に関わらず取り組みを進めてもらえるとよいのではないかと思います。P6について、BPRもRPAと随時、同列で進めていったほうがよいかと思います。

【丸山会長】

それぞれの課が、本日の意見を反映し、内容について精査して次回修正、提出をしていただく必要があると考えます。内容によって修正すべき内容が変わるがそれを含めて事務局の方でしっかりと管理してほしいと思います。

今までの意見をまとめると効果には2種類の側面があり、財政的なものと質的なものが取り組みとしてあり、分かるように表記することを検討する必要があること、現状とその評価が分からないと効果についても測定しにくいので現状とその評価を把握すること、効果が出る数量を表記する必要がある。数字だけでなく、効果が出る数量等の根拠が必要。現状の業務が行政としてやるべきものなのか、慣例的に行っている業務なのかの見直しを各課で検討してほしい。業務を委託している場合でも、行政がやるべきことなのか、民間がやるべきことなのかを含めて事務ごとに見直しを行う必要があると思います。

【各担当課長】

当日資料4に基づいて総務部にかかるアクションプランについて各担当課が説明

【丸山会長】

総務部に関するところで意見等ありますか。

【岡委員】

組織横断的な交流・連携による組織の対応力向上についてですが、資料に記載されているとおり、一つの部署では収まらない取組が多々あると思いますので、日頃の業務もありますが、今回の総合計画にあるような協働の意識をもって取り組むことが非常に重要だと考えます。市民と一体となったまちづく

りを進めていただきたいと思います。

【丸山会長】

法体系が縦割りになっているため、意識的に取り組みを進めてほしいと思います。

【近藤委員】

基本方針2が一番財政に効くところだと思うので、いかに短期間で効果を出すかが大事になってくると思います。例えば、公用車の取り組みを5年かけてやるのかというのが正直な意見。財政効果が高いため、1～2年で重点的に取り組んでほしい。そういった目で見ても、ここは1～2年で本気でやる必要だと考えます。

【佐々木委員】

公用車の取組に関して、近藤委員と全く同じ意見です。

また、多様な働き方の実現等、指標の設定が難しいと思いますが、もう一度この目標でいいのか再考してほしいと思います。例えば、キャリアプラン記入者の率とか働きがいを感じる職員の率とか、本当にこれでいいのか、何をしたいのかを明確にして、具体的に落とし込んでもらいたい。かなり漠然としているので、指標設定等を組織で再考してもらいたいと思います。

【岡本委員】

公用車については、近藤委員のとおりだと思います。5年後の車を取り巻く環境も分からないので、5年かけて実施すると世の中の動きについていけない可能性があると思います。まず1年目に何かしら検討した結果を出すことが重要だと思います。

P2 実施内容2 課題検討会議等の開催について、項目としては良いと思いますが、日程が気になっていて、実施期間が3段階になっていて3つ行った結果が出るのが遅いと思います。全庁で一気に進めていくのではなく、1年ごとでできる小さい単位で実施、その結果を踏まえた上でサイクルを回す計画の作り方を考えてほしいと思います。

【丸山会長】

行革の課題というのは財政的な効果だけではなく、行政サービスの質の向上、実施する取り組みをどれだけ迅速にできるかという視点も重要。期間を待つ必要が合理的にあればよいが、ない場合は早く取り組んでほしいと思います。

財政的效果を出しやすい取り組みがあるため、あてはめられるものは、応用して効果額を出してほしい。総務省が実施している生成AIのワーキンググループ等のようなプロジェクトがあってもよいと思います。そのあたりを視野に入れながら、行革も進めていくことが求められていると感じています。

【各担当課長】

当日資料4に基づいて市民部、福祉部、農林商工部、水道部にかかるアクションプランについて各担当課が説明

【丸山会長】

意見などありますか。

【佐々木委員】

徴収率は現状すでに高いのでもっと違う取り組みでもよいのではと思いました。

前年度実績以上という目標は厳しいのではないかと感じますし、日頃の業務の延長のようにも感じ

ます。

【介護保険課長】

ほとんどが特別徴収で、なかなか徴収ができていない個人に対して、柔軟な対応で実施したいと考えています。

【福祉部長】

分納する人が割合としては少ないですが、最近増えてきているため、今後のために対処する必要があると考えています。

【丸山会長】

地域の特性と職員の皆さんの努力が数値として表れていると思います。それを維持するための努力を継続していただきたいと思います。

ふるさと納税はどれくらいの額が納められているのかということと、逆にいなべ市民がほかの市町へどれくらいふるさと納税をしているのかを示してください。

【商工観光課長】

令和6年度に関しては、6,000万円ほどふるさと納税をしていただいているが、市民税控除としましては9,000万となっています。市としてはマイナスの状況が続いています。

【丸山会長】

それは改善の必要があると思います。かなりのプラスとなっているところもあるので、他の自治体を参考にして、いなべ市の特性が生まれる機会の一つの手段だとも思うので、情報発信していただけたら良いと思います。

本日予定しておりました、公共施設の現状と課題に関しては、次回へ延期ということになりましたので、よろしくお願いします。

【企画部長】

ありがとうございました。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、課題がたくさんあると受け止めさせていただきました。いただいたご意見から今後について話し合っていきたいと思っています。ありがとうございました。

会長からありましたとおり公共施設等総合管理計画の現状と課題については次回に変更させていただく予定です。よろしくお願いします。

## 5 次回の会議について

【企画部長】

次回の会議は令和7年7月25日（金）午後2時からを予定しております。お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願いします。

## 6 閉会

【企画部長】

本日の審議会の内容と会議録につきましては後日、市のホームページで公表させていただく予定です。本日はご多用の中、貴重なお時間と貴重なご意見をいただきありがとうございました。以上をもちまして第5回いなべ市行政改革推進委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

